

論文審査の結果の要旨

氏名：成瀬 才 源

専攻分野の名称：博士（医学）

論文題名：小児糖尿病における網膜症発症に関連する因子の検討

審査委員：（主 査） 教授 大井田 隆

（副 査） 教授 高橋 昌 里 教授 越 永 從 道

教授 根 東 義 明

本研究は小児糖尿病における網膜症の発症に関連する因子を明らかにするために行われた。研究対象は駿河台日本大学病院（現日本大学病院）眼科と小児科において管理中の糖尿病患者 122 例、うち小児 1 型糖尿病患者 86 例（男性 39 例、女性 47 例）と小児 2 型糖尿病患者 36 例（男性 11 例、女性 25 例）であった。6 ヶ月に 1 度の眼底検査を行い、単純網膜症が確認された時点を網膜症発症とした。網膜症発症を平均 HbA1c 8.0%以上と 8.0%未満の 2 群に分け、Kaplan-Meier 法を用いて関連要因の検討を行った。さらに網膜症発症に関連すると思われる因子を多変量解析手法である Cox 比例ハザードモデルを用いて解析した。その結果、平均 HbA1c 8.0%以上と 8.0%未満の 2 群に分けた検討では、小児 1 型・2 型糖尿病とも、平均 HbA1c 8.0%以上のものは 8.0%未満に比べ網膜症発症までの期間が有意に短かく、小児 2 型糖尿病では女性であることが網膜症発症に影響した。また、網膜症発症に関連する因子の検討では、小児 1 型糖尿病の網膜症発症には平均 HbA1c 値と糖尿病診断時期が有意に影響し、小児 2 型糖尿病の網膜症発症には平均 HbA1c 値のみが有意に影響している結果であった。本研究は小児糖尿病患者が網膜症を予防するために有意義な研究であり、よって本論文は、博士(医学)の学位を授与されるに値するものと認める。

以 上

平成 27 年 11 月 11 日